

ヘルスプロモーションのための医療福祉施設と関連産業の戦略
—サプリメントの正しい選択と適切な使用及び評価—

サプリメントの臨床経験と評価の取組み

—生活習慣病とアレルギー疾患—

丹羽 正幸 (医)丹伎会 丹羽クリニック院長

新宿区医師会理事 (統合医療検討委員会担当)

臨床における第一選択は、あくまでも医薬品である。サプリメントは治療において明らかに医薬品以上の効果、または医薬品にはない効果が期待できる場合のみ用いるべきである。

したがってサプリメントに求められる **EBM** の基準は医薬品とは異なり、評価の方法も異なる。

本講演では統合医療を実践する立場から、治療にどのようにサプリメントを用いるか、臨床に適したサプリメントとは何かについて述べる。

①臨床における評価の基準

- ・安全性：大量投与、長期使用に適した安全性を有しているか
- ・効果：正しい診断のもと適正な使用をした場合に意図した効果が得られるか

②糖尿病の症例

③アトピー性皮膚炎の症例

④臨床に適したサプリメントとは